

ウブレチド錠 5mg

【この薬は？】

販売名	ウブレチド錠 5mg UBRETID TAB.5mg
一般名	ジスチグミン臭化物 Distigmine Bromide
含有量 (1錠中)	ジスチグミン臭化物 5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、コリンエステラーゼ阻害薬に属する薬です。
- ・この薬は、排尿障害治療剤として処方される場合、膀胱の筋肉の働きを強め、排尿障害を改善します。重症筋無力症治療剤として処方される場合、全身の筋肉の働きを強め、重症筋無力症における症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

手術後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難（手術後や膀胱の動きを調節している神経が障害を受けている状態によって尿の出が悪くなっている人）

重症筋無力症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬を使用することにより、意識障害を伴う重篤なコリン作動性クリーゼが発現し、中には死亡にいたる例も報告されています。患者や家族の方は、コリン作動性クリーゼ（初期症状として、吐き気・嘔吐、腹痛、下痢、つば、痰や涙が多くなる、汗がたくさん出る、脈が遅くなる、縮瞳（瞳孔が小さくなる）、息苦しいなど）があらわれることがあることを十分に理解できるまで説明を受けてください。これらのコリン作動性クリーゼを思わせる初期症状があらわれたら、ただちに飲むのをやめ、医師等に連絡し、指示に従ってください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・消化管または尿路に閉塞のある人
- ・迷走神経緊張症の人
- ・脱分極性筋弛緩剤（スキサメトニウム）を使用している人
- ・過去にウブレチド錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・高齢の人
- ・腎臓に障害のある人
- ・気管支喘息の人
- ・甲状腺の機能が亢進している人
- ・徐脈・心疾患（冠動脈疾患、不整脈）がある人
- ・消化性潰瘍がある人
- ・てんかんの人
- ・パーキンソン症候群の人

○この薬には併用してはいけない薬〔スキサメトニウム塩化物水和物製剤（スキサメトニウム注「AS」、レラキシン注）〕や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	重症筋無力症	手術後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難
1回量	1錠	1錠
開始量	1錠	1錠
維持量	1～4錠	1錠
飲む回数	1日1～4回	1日1回

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に服用してはいけません。

指示された時間に飲み忘れたら、1回とばして次の指示された時間から服用してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く使用した場合、吐き気・嘔吐、腹痛、下痢、つば、痰や涙が多くなる、汗がたくさん出る、脈が遅くなる、縮瞳（瞳孔が小さくなる）、息苦しいなどの症状があらわれるおそれがありますので、ただちに医師に伝えてください。

過量使用の治療薬としてアトロピン硫酸塩水和物があります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用することにより、意識障害を伴うコリン作動性クリーゼがあらわれることがあります。投与開始2週間以内で多くあらわれていることから、特に投与開始2週間はコリン作動性クリーゼの症状（初期症状として吐き気・嘔吐、腹痛、下痢、つば、痰や涙が多くなる、汗がたくさん出る、脈が遅くなる、縮瞳（瞳孔が小さくなる）、息苦しいなど）に注意してください。また、この薬を長い間飲んでいて人でもこのような症状が見られることがあります。コリン作動性クリーゼの症状が出てきたら、この薬を飲むのをやめ、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
- ・重症筋無力症の患者さんで、筋無力症の症状の悪化、息苦しい、ものが飲み込みにくいなどが見られることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに受診してください。
- ・妊娠中または妊娠の可能性のある人は医師または薬剤師に相談してください。
- ・授乳は避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
コリン作動性ク リーゼ コリンさどうせいク リーゼ	初期症状として吐き気・嘔吐、腹痛、下痢、つば、痰や涙が多くなる、汗がたくさん出る、脈が遅くなる、縮瞳(瞳孔が小さくなる)、息苦しい、意識の低下、判断力の低下
狭心症 きょうしんしょう	胸がしめつけられる感じ、胸が押しつぶされるような感じ、胸を強く押さえつけられた感じ、胸の痛み、冷や汗
不整脈 ふせいみやく	脈がとぶ、脈が乱れる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、汗をたくさんかく、体がだるい、脈がとぶ、脈が乱れる、脈が遅くなる、気持ちが悪くなる
頭部	意識の低下、めまい、考えがまとまらない、判断力の低下
眼	周りが暗くなる、ものが見えにくくなる、涙が出る、物がだぶって見える、上まぶたが下がる、まぶたが重い
口や喉、気管	つばや痰が多く出る、口が渇く、ものが飲みにくい、唇が青紫色～暗紫色になる
胸部	息苦しくなる、息切れ、胸がしめつけられる感じ、胸が押しつぶされるような感じ、胸を強く押さえつけられた感じ、胸の痛み
腹部	腹痛、吐き気
手・足	脈がとぶ、脈が乱れる、手足の爪が青紫色～暗紫色になる
皮膚	皮膚が青紫色～暗紫色になる
筋肉	筋肉のけいれん、筋肉の疲労感、力が入らない
便	下痢

【この薬の形は？】

形状	円形の錠剤（割線入り）
直径	9mm
厚さ	3mm
重さ	250mg
色	白色
識別コード	T O 0 6 7

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ジスチグミン臭化物
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、バレイショデンプン、タルク、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：鳥居薬品株式会社 (<http://www.torii.co.jp>)

お客様相談室

電話：0120-316-834

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他休業日を除く）